

▼絵本の世界に夢中になる児童たち



絵本の魅力を体いっぱいを感じる時間

7月13日、秦荘東小学校で、おはなしポッケの皆さんによる「絵の本ひろば」が開催されました。

「絵の本ひろば」は、絵本を静かに読むだけでなく、声を出して笑ったり、体を動かしたりしながら自由なスタイルで絵本に親しむことができる時間です。

児童たちは、会場に並ぶたくさんの絵本の中からお気に入りの一冊を手に取り、友だちと一緒に手遊びをしたり、登場人物になりきって表現したりして物語の世界を楽しんでいました。

また、休み時間にも多くの児童が訪れ、「もう一回読もう」「この本おもしろい」と夢中になる様子が見られ、絵本の魅力に触れながら心豊かな時間を過ごしていました。

▼秦荘バレーボール女子チームの皆さん



秦荘バレーボール女子チーム 県大会優勝

7月19日、野洲市総合体育館で、滋賀県小学生バレーボール夏季大会が開催されました。男女合わせて98チームが地区予選に出場し、その激戦を勝ち抜いた40チームが県大会で熱戦を繰り広げました。

愛荘町スポーツ少年団秦荘バレーボール女子チームは、粘り強いレシーブと息の合ったチームプレーで強豪チームを次々と破り、見事優勝を果たしました。

この優勝により、チームは滋賀県代表として、8月30日に近畿小学生バレーボール大会へ出場されました。

大会出場者

林 莉奈、上柳 仁菜、大西 夏美、白井 美羽、西村 心輝羽、細野 明咲、福島 由奈、木村 希穂、飯嶋 桃萌、黒川 祐愛、藤田 明咲希、宇野 巴菜

▼滋賀支部長の西脇さん（写真左）



パナソニック松愛会からの贈りもの

7月15日、パナソニック松愛会滋賀支部より、愛荘町へ車いす1台を寄贈いただきました。

パナソニック松愛会は、パナソニックグループのOB・OG約29,000名が全国35支部で活動する団体で、「親睦・友愛・社会貢献」を3本柱としています。

今回の寄贈は、会員や地域の皆さんが集めたアルミ缶のプルタブを資源として売却し、その収益で車いすを購入する「プルタブを集めて車いすを贈ろう」活動によるもので、滋賀県内の市町へ順次贈呈されており、今回は累計35台目、愛荘町へは2016年に続き2度目の贈呈となりました。

寄贈いただいた車いすは、住民の皆さんの福祉向上のため大切に活用します。温かいご支援とご厚意に心より感謝申し上げます。

▼入賞した剣士たち



団結の一本！剣道大会で敢闘賞

7月20日、新旭体育館ふれあいサロンさわやかで、第16回高島市文武両輪剣道錬成大会が開催され、愛知川剣心会からは、1部にA・Bの2チーム、2部に1チームが出場しました。

選手たちは日頃の稽古で培った技術とチームワークを発揮し、最後まで粘り強く試合に臨みました。その結果、1部Aチームが見事敢闘賞を受賞しました。

1部Aチーム

安田 一伸、村長 紗菜、福岡 心翔、岩倉 迅、堀内 心菜



▼ハンドルを回して、ペンギンの動きを楽しむ親子



時代を超えて楽しむ「からくり」の魅力

8月1日から30日まで、愛知川びんてまりの館で、「からくりおもちゃ展」が開催されました。会場には、復元された江戸時代のからくりおもちゃと現代のからくりおもちゃが並び、訪れた人を楽しませました。

現代のからくりおもちゃは、実際に触って遊ぶことができ、ハンドルを回すと、思いがけない動きを見せます。

会場では、親子で夢中になってハンドルを回す姿が見られ、子どもたちからは「ねこのおもちゃがお気に入り!」「また遊びに来たい!」といった声が聞かれました。また、大人からも「おもしろくて、大人もつい夢中になります」といった声が聞かれ、世代を問わ

▼ねこの目線の動きに夢中になる親子



ず、からくりおもちゃの不思議な魅力を楽しみました。

また、8月9日には、奈良町からくりおもちゃ館の館長によるギャラリートークや古文書講座も開催されました。参加者は復元されたおもちゃの仕組みについて学ぶとともに、江戸時代に出版されたおもちゃの絵本を読み解き、当時の人々が楽しんだ「からくり」の世界に触れました。

時代を超えて受け継がれる「からくり」の不思議な魅力を、子どもから大人まで、多くの人が楽しんだ企画展となりました。



少年センターだより

麻薬、覚醒剤、大麻乱用防止運動

10月1日から11月30日まで、全国で「麻薬、覚醒剤、大麻乱用防止運動」が実施されます。

この運動は、麻薬・覚醒剤・大麻などの薬物乱用を防ぎ、安心・安全な地域社会をつくるための重要な取組です。薬物乱用による危害を広く国民に周知し、一人一人の認識を高めることにより、麻薬、覚醒剤、大麻等の薬物乱用の根絶を図ることを目的としています。

近年、20歳未満の若者の検挙者数が急増しています。このことから、愛荘町少年センターでも薬物乱用の恐ろしさを周知し、薬物に手を出さない健全な心を育てることを目的に、少年補導委員会と連携し、学校での薬物乱用防止教室や愛知川駅での啓発活動を強化しています。

甘い誘いを断ち切る勇気をもって、大切な自分を守り、夢や目標に向かって努力する子どもたちを応援しています。



薬物乱用とは?

薬物乱用とは「決められたルールを守らないで薬物を使用すること」です。

覚醒剤や麻薬・大麻危険ドラッグなどは1回使用しただけで乱用にあたります。

青少年への悪影響

小学生、中学生、高校生は、心身ともに急速に発達する時期です。家庭や学校で知識や物事の考え方を学び、自分らしさを発見していく大切なこの時期に薬物を乱用すると「感情のコントロールがきかなくなる」「意欲がなくなる」「怒りっぽくなる」など、心身の発達が損なわれてしまい、家族や友だちとのコミュニケーションもできなくなってしまうことがあります。

(厚生労働省啓発資料参照)

誘われても強い気持ちで『ダメ。ゼッタイ。』
きっぱりNO! と断る勇気を!!

☎ 愛荘町少年センター ☎ 0749-42-8018